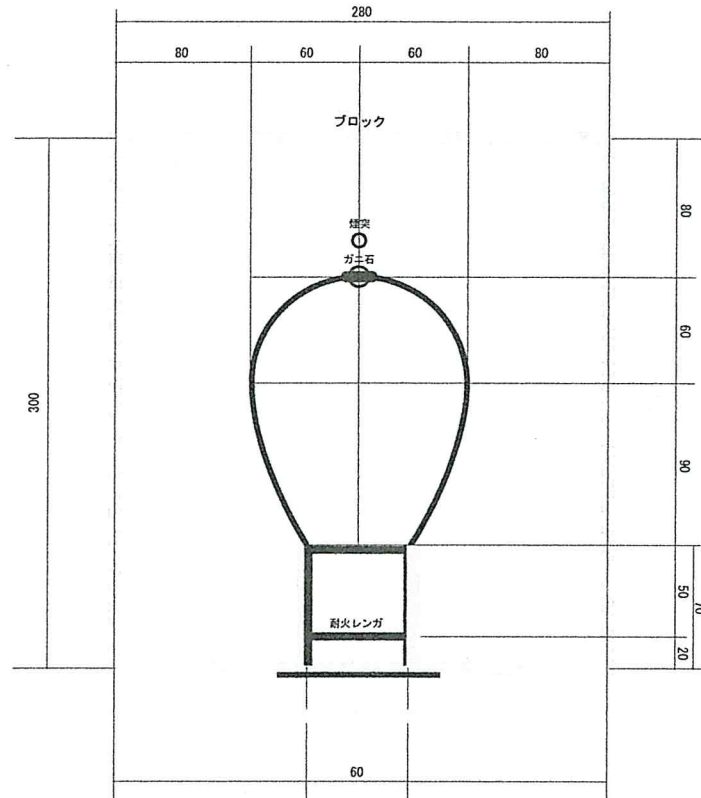


二代目神於山炭焼き窯(黒炭)造り工程

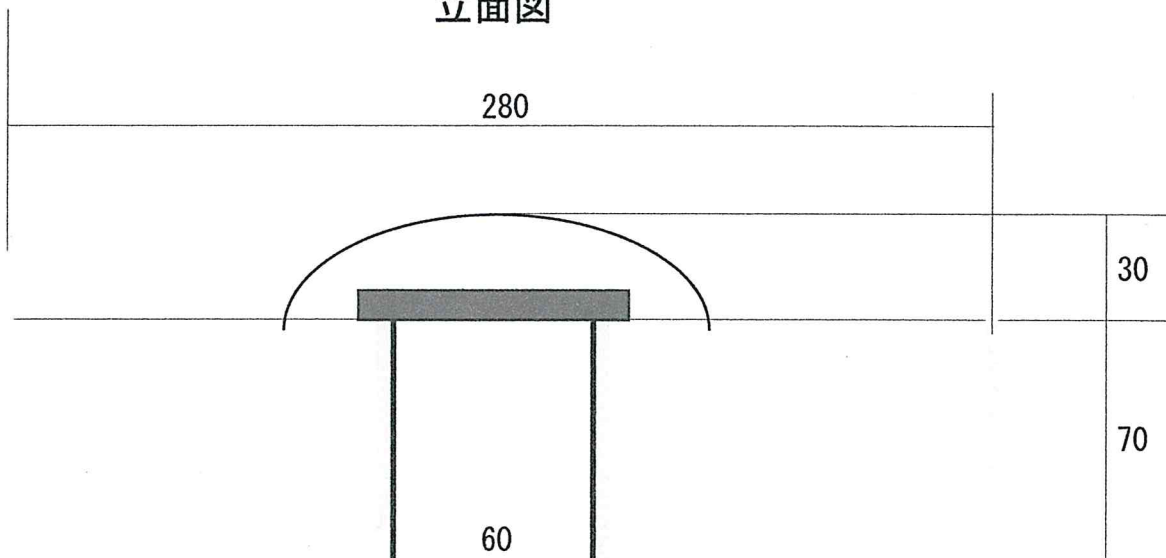
次世代神於山保全倶楽部員のために窯造りの工程を記録として、残しておきたいと思います。

窯の大きさは標準とされる黒炭窯の1/2です

平面図



立面図





1. ベニヤ板と角材で窯の型を作る

2. ブロック設置面積より大きめに地面を整地する



3. ブロックの基礎部を掘り下げ
バラスを敷き突き固める

4. その上にセメントを流し込む



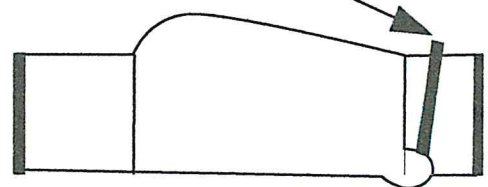
5. ブロックを4段積み上げる



6. 積み上げたブロックの内側に石灰を混ぜた土を2〜30cm入れてはランマーで突き固めることをブロックの高さになるまで繰り返す



7. 煙突部に土管を入れ周囲を土で固めながら設置

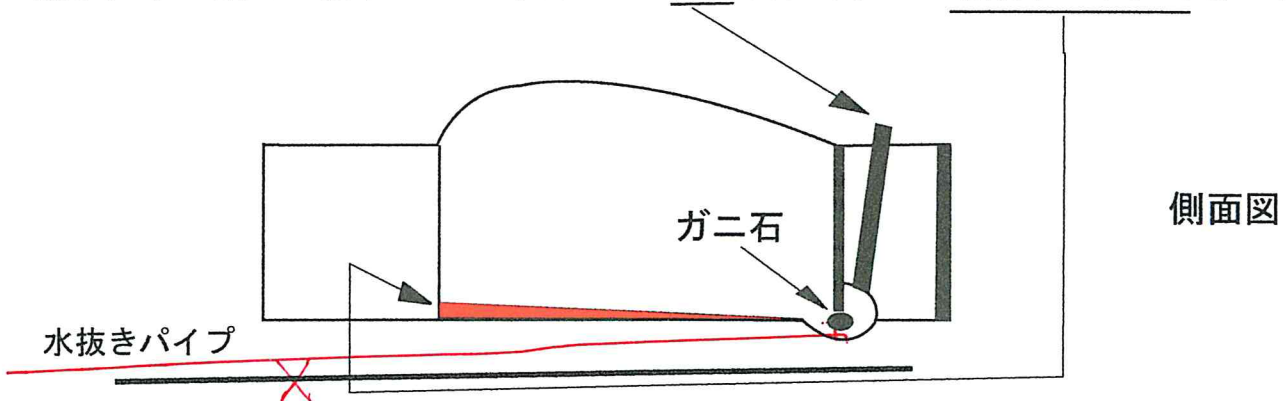


側面図

8. ブロック内の土を固めたら窯の型を掘くり抜く、窯内側の壁を滑らかに突き固める



9. 窯底(バラス部)まで掘り進んだら炊き口から煙突下部に向かって傾斜(5cmくらい)をつける



10. 煙突下部の土をくり抜き(排煙口)土管につなぐ



煙突(土管)を突き抜けた棒

11. ガニ石を取り付ける



ガニ石

水抜きパイプ

12. 排煙口から炊き口外部への水抜きパイプを設置する



水抜きパイプ

水抜きパイプを設置後土を埋め戻しガニ石上部も塞ぐ



13. 木を燃やして排煙口を乾燥させる



14. 窯内部に長さ70cmの丸太を縦にぎっしり詰める
その上に窯天井の骨組みを作っていく



15. 窯天井部を作るための骨材を組む



(この丸太は窯を作るためのものなのでどのような木材でも良い)

16. 天井の型を大中小様々な木を並べ
なるべく滑らかなドーム型に整える



17. 今回は炊き口の天井に石屋さん
から頂いた御影石を使用



(ドンゴロス等)

18. ドーム型を麻布で覆う

19. その上に旧窯から採取した焼き土^にを被せ^るカケヤで叩き固める



20. その上に旧窯から採取した焼き土を被せカケヤで叩き固める

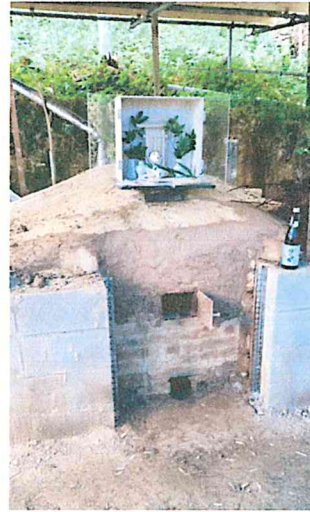


20. 障壁と炊き口を作り

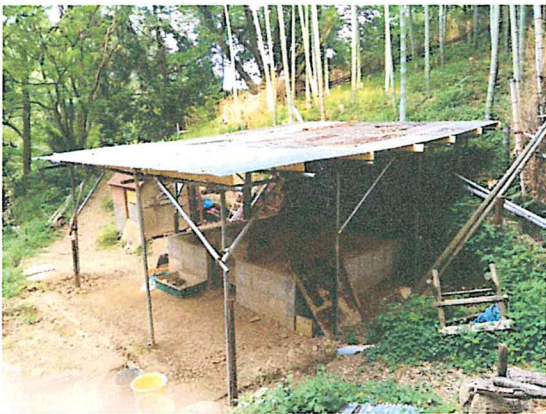


障壁

21. 障壁と炊き口を作り



22. 窯を雨風から守ための屋根を作る



23. 煙突を設置



24. 窯の周囲にU字溝を設置



25. 火入れ式完成



26.



27



もくもくと煙を上げる窯の全景